

ローソンと提携、地方では移動販売車の実験開始 業績低迷の**良品計画** 次の反転策は？

財界

Z A I K A I
a Japanese business biweekly

コロナ禍で史上2番目の純利益
野村HD・**奥田健太郎**が掲げる
「人とデジタルの融合」戦略

2020 9/23

◎インタビュー
三菱ケミカルホールディングス会長
小林 喜光
クボタ社長
北尾 裕一

「**明治安田生命**・**根岸秋男**の
お客様からの感謝の声を励みに」

超低金利下の資産運用と、顧客に安心をどう届けるか――

本誌主幹 **村田博文**



表紙の人
明治安田生命社長
(生命保険協会会長)
根岸 秋男
撮影 齊田 勤



おおぐち・たかひろ

1990年東京出身。帝京平成大学鍼灸学科卒業。ハワイ大学医学部人体解剖実習修了。鍼灸師。ミスコンテスト講師。柔道整復師。TV、雑誌などで有名な「GP小顔整体®」創業者。国際ライセンス取得。小顔筋膜施術の第一人者として活躍。多くのメジャー俳優、モデル、タレントなどからも支持されており、さらに顧客は国内だけでなく、欧米やアジア世界各国の大富豪、王族などの治療にもあたっている。

割し、筋膜がどのようになっていくのかを研究した成果です。
池田 自身、頸椎ヘルニアを大
口先生に施術していただき治ったの
で、驚いているんです。手の痺れが
半年ほど続いて、名医と言われる整
形外科の先生、何人かに診てもらっ
たのですが、皆、「そのうち治る」
と言われるんです。さらに「手術で
治すとなると大変だよ」と言われま
す。患者の立場からすれば、いつ治

るかもわかりませんが、ずっと痺れ
ているというのはいやほいや嫌なもので
す。
自分でも色々調べて、整体師さん
のやり方なども試してみたのですが、
骨や肩甲骨のゆがみなど、手が届か
ないので自分自身を施術することは
不可能なんです。その時に大口先生
に治していただいたという方からご
紹介いただき、施術していただいた
ら、驚くほど改善したので、やはり

オリジナルの美容整体術を世界へ発信

—「西洋医学」と「東洋医学」のコラボレーション—

東京皮膚科・形成外科 総院長 大口市ボディテック整体協会 代表理事

池田 欣生 × 大口 貴弘

今回のプロフェッショナル対談は、圧倒的な技術力を持ち、小顔・骨盤・美脚・美容鍼などの施術で「ゴッドハンド」として、国内外に知られる鍼灸師・大口貴弘氏が登場。海外セレブからも絶大な信頼を得ている東洋医学の鍼灸・整体術を持つ大口氏と、西洋医学をベースに美容医療の発展に尽力してきた池田総院長とが熱い議論を交わす。

「ゴッドハンド」と呼ばれる独自の整体

池田 30才の若さで、整体院や美容サロンをいくつも経営され、お弟子さんも沢山おられる。国内の施術予約も1年待ち以上で、海外からも出張施術依頼も絶えないと伺いました。そもそもなぜ鍼灸師を目指されたのですか。

大口 歳が離れた姉や兄が鍼灸師だった影響は大きいと思います。姉の夫でもある義兄が中国の方で、東京医科歯科大学に留学していた整形外科医でした。東洋医学にも精通しており、その義兄が私に大変教育熱心でして、8歳の頃から鍼灸整体術を教え込まれましたね。最初は見真似でやっていたのですが、10歳

の頃から鍼灸整体施術の基礎は体得していました。

池田 8歳からですか！それは英才教育ですね。私の家も父が医者だったので、「知らずに色々覚える」というのはありましたが、それにしてもそんな幼少の頃から医療に興味があわくというのはいか？

大口 大人に喜んでもらいたいというのもありましたが、それ以上に「びっくりしてもらいたい」というのが最初のきっかけです。小さな子供が肩たたきしてあげてるのかなと思ったら、骨のゆがみまで直す施術をするので、皆「凄く良かった」とびっくりしてくれ、喜んでくれた気がします。

大学の鍼灸学科では先生の代行をするほどでした。ハワイ大学医学部の人体解剖実習に参加し、鍼灸技術の開発にも役立てました。

池田 それが大口先生の施術の特徴に？

大口 はい。「筋膜（全身の組織を包み込んでいる膜。皮膚と筋肉の間にあり、体全体のデザインを形成する上でも大事な部分になる）」からアプローチし、筋肉や関節を調整する施術法を得意としています。それもハワイ大学で数多くの検体を解

「本物」だと思いました。

大口 池田総院長のケースは、頸椎ヘルニアだったので、そこに鍼を打つのは勿論なんですけど、様々な箇所に「隙間」が出来るので、それを広げてあげる。さらに筋肉も硬くなっているのをその緊張を取り、矯正することを徐々にやっていると痺れがだんだん抜けてきます。

池田 そういった施術をしていくと体が良い方向にだんだん馴染んでいくということですか。

整体術を活かして美容分野にも取り組まれていると。

大口 小顔のリフトアップ矯正術（大口式小顔整体®）を開発しまして、セラピストやエステティシャンにお教えしています。現在、私の弟子は12人おり、各々自分のサロンや整体師のスクールを展開。私自身もエステサロンの整体師を育成するスクールを開いています。私が指導している方々は全て合わせると3000人程です。

池田 小顔矯正のほかに？

大口 美容整体として骨や関節の矯正、先程お話しした筋膜の調整、さらに鍼であえて傷を作り、修復させるということも。刺激した細胞が元気になると、より張りが出てくる

のです。鍼治療で免疫力を高める（血流が良くなり活性化）する。施術などにはある意味、「若返り」にも通じてくると思います。

先端医療でコラボも

池田 自身はアンチエイジングを長年（約20年）、銀座でやってきておりますが、最近の傾向として経営者の方が多いいらっしゃるようになってきました。「若い時の感性に戻りたい」「そういう方が増えている」「顔」がどうこうというより「脳」が若返りたいと。そこで神経幹細胞を再生させる効果が期待できる脳神経の「幹細胞」の培養液を点滴するという研究を始めました。

大口 幹細胞を使った治療は先端医療ですね。幹細胞治療の良いところは、「悪い箇所にアプローチする」と聞いています。

池田 そうですね。そもそも、「ケガが治る」ということは「血液の中の幹細胞がケガをしたところに集まってきて、そこで分裂をして治す」というのが治癒のメカニズムです。ですからその治癒した箇所は細胞が分裂したばかりなので、本来は「若い細胞」ばかりなんです。しかし、



いけだ・よしお

大阪医科大学卒業。1996年大阪医科大学附属病院形成外科入局。同大学附属病院形成外科病棟医長、東海大学病院形成外科・美容外科臨床助手を経て、2000年大阪いけだクリニック開院。04年銀座いけだクリニック開院。現在は東京皮膚科・形成外科総院長の他、東海大学病院形成外科非常勤講師、一般社団法人・JAAS日本アンチエイジング外科学会理事長をつとめる。

れ以上深いと切開して手術するしかない。鍼灸師は通常でも9cm位は深く刺すことができる。そういうアプローチは西洋医学ではない。
前回の銀座クラブ・由美ママの対談で紹介したテスラフォーマーは磁力を使って患部深度9cmのところへ届くのですが、東洋医学の鍼と運動すれば、患部へピンポイントで届くことも可能になりますね。
大口 衰えた筋肉に鍼で刺激を入れて、脳に、「そこに筋肉がある」

と認識させる。さらにそこへテスラフォーマーで磁力を入れて鍛え、その筋肉を使えるようにすることが可能かと思えます。
怪我をしたスポーツ選手なども同じ原理で、運動疾患・損傷した筋肉を修復しています。その施術は美容や健康維持などへも転用できると思えます。見えない筋肉や鍛えづらい筋肉にも鍼で捉え、テスラフォーマーで筋肉を刺激して鍛える。例えば、老化で転びやすい方なども筋肉を鍛

えて整えておけば転びにくくなり、怪我の予防にも最適。通常の鍼灸院だと、「痛みを取る・直す」は出来ますが、その患部を「鍛えて強くする」という事は出来ない。
池田 通常、「医者」と「整体師」っていうのは仲が悪いんです。ライバル視することも多いんですが、患者さんの治療を目的にコラボしているの、むしろ良い研究結果が得られますね。そういうところは謙虚に学んでいきたいと思えます。大口先生の将来の展望は？
大口 最近はアメリカなどでも鍼治療が注目されています。特に日本発の鍼治療は信頼性が上がってきています。従来の施術や新たな施術も含め、日本から世界へ発信していきたい。インターネットを使った授業など、情報発信も国内外で挑戦していきます。
池田 私も銀座で医院を開業したのが30歳で、よく「まだ若いから」と言われましたが、きちんと信頼を得てきました。本質的にしっかりと仕事をしていたら、成功も早いんだと思います。そこからさらに成長していきたい。誰も勝てないところまで行きます。今後の大口先生のご活躍を期待しております。

大口式ボディテック整体協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-10-5 岡田ビル6F

TEL 03-6273-0210

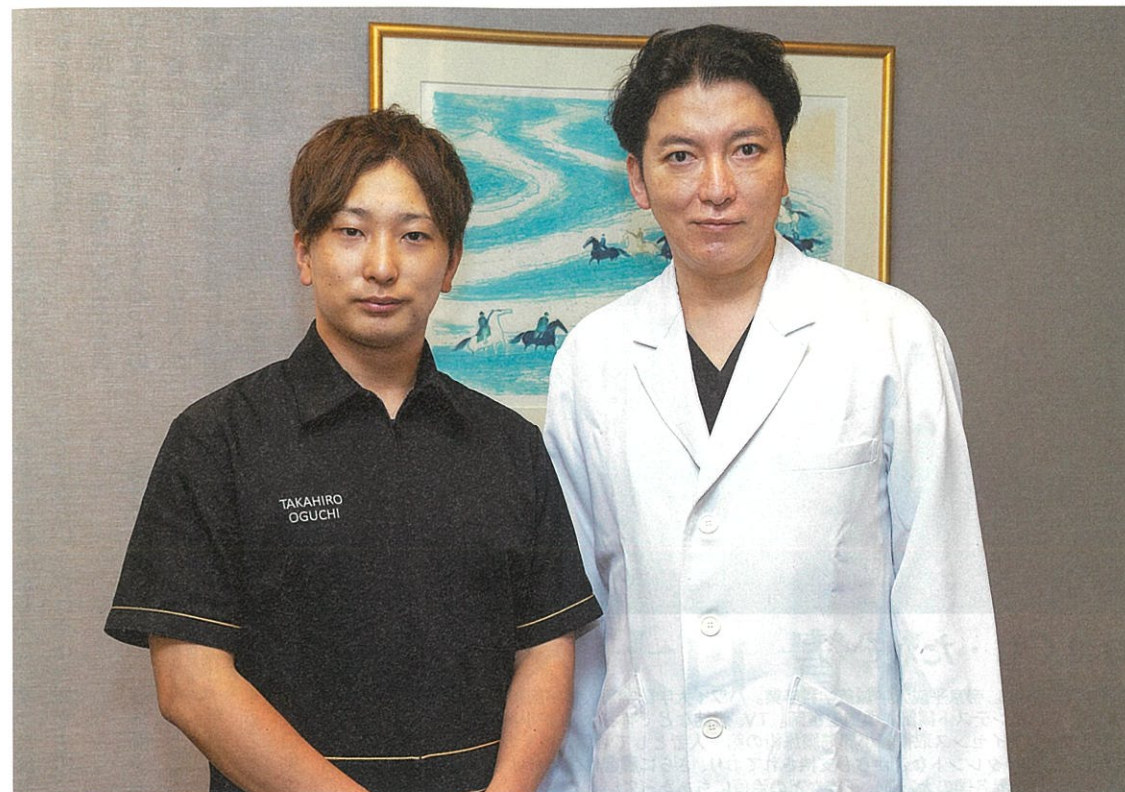
HP <https://oguchi-bodytech.jp/>

東京皮膚科・形成外科銀座院

〒104-0061 東京都中央区銀座2-11-8 ラウンドクロス銀座 3F

TEL 03-3545-8000

HP <http://www.251901.net/>



鍼灸師・大口氏と池田総院長

ケガをしていない周りの細胞が老化しているの、その細胞から炎症物質が出て若い細胞が老化細胞に馴染んでいくということが、最近の研究でわかってきました。面白いことに、逆に老化細胞が少ないと若い細胞が増えていくこともわかってきました。実は若い細胞にも老化細胞を駆逐する力を持っていて、その最強の細胞が、赤ちゃんの細胞です。しかし歳を取ると免疫力が落ちて、老化細胞に勝てなくなってくる。それがいわゆる「老化」です。
今の私の研究はその老化を薬だけで治療することが出来ないかということ。老化細胞を撃退する抗生物質も発見されており（抗生物質アジスロマイシンとロキシスロマイシンなどの研究）。この技術が確立すれば、将来はコロナでも注目され、治らないとされていた「肺線維症」なども老化物質を除去するなど作用して治療できる時代も来るかもしれないと思っております。さらにそれを美容に転用すれば、肌の老化細胞を除去することも可能だと考えています。
大口 鍼治療も原理は似ていて、鍼で治療箇所を刺激し、血流を施し、活性化させ治療します。

しかし加齢による様々な痛みの根本原因は、老化と共にコラーゲンやエラスチンと言われるたんぱく質が減少して起こります。特にエラスチンはしなやかで伸縮性のあるたんぱく質（出生前から赤ちゃんの時期までに生成され、あとは年齢とともに壊れていく）ですが減少すると筋肉や関節が硬くなります。転びやすくなるなどもそれが原因です。こういったことは、鍼灸整体施術だけで痛みを取ることはできても、根治という訳にはいきません。
池田総院長は施術のような、ヒアルロン酸や幹細胞などを様々な研究されていますので、私とコラボしたら、良い研究成果が出るのではないかと考えております。例えば、幹細胞と鍼治療の組み合わせは、すごく相性が良いと思っております。
池田 そのような治療法は聞いたことがありませんので、とても興味深いアプローチだと思います。鍼の刺激に幹細胞が集まってくるということも考えられますね。まさにこれが「化学反応」ですね。
東洋医学では西洋医学にできないことも多い。例えば鍼治療。西洋医学では通常使う針といっても3〜5cm。患部に届かないことも多い。そ